

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公表番号】特表2004-500629(P2004-500629A)

【公表日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2001-536725(P2001-536725)

【国際特許分類】

G 06 F 13/00 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 13/00 5 4 0 B

G 06 F 12/00 5 4 6 K

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月17日(2010.11.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによって実行され、該方法は、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを取り出すことと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内のダイナミックリンクを識別することと、

該ダイナミックリンクが該中間サーバを指示するように該ウェブページ内の該識別されたダイナミックリンクを変更することと

を含む、方法。

【請求項2】

前記ダイナミックリンクが相対リンクであり、前記ウェブページ内の相対リンクを変更する工程は、

該相対リンクがベースタグを含む場合、該相対リンクが前記中間サーバを指示するように前記プロセッサが該ベースタグを修正することと、

該相対リンクがベースタグを含まない場合、該プロセッサがベースタグを挿入することであって、該挿入されたベースタグにより、該相対リンクが該中間サーバを指示す、こと

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にする工程は、前記プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ダイナミックリンクは絶対URLであり、前記プロセッサが、プロトコルによって該絶対URLを識別することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すようにダイナミックリンクを変更する工程は、ホスト名を用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲットウェブサーバを規定することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すようにダイナミックリンクを変更する工程は、ポートを用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲットウェブサーバを規定することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記プロセッサが、前記ウェブページ内のリソースのリソースソースタグを識別することによって該リソースのリソースタイプを識別することと、

該プロセッサが、該ウェブページを修正して該リソースを指し示すリンクを変更することにより、該リソースタイプを有するとして該リソースをマークすることと、

該プロセッサが、該リソースがマークされている該リソースタイプに基づいて、該リソースを指し示すダイナミックリンクが変更されるべきではないことを決定することとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

ドキュメントドメインスクリプトコマンドが前記中間サーバのドメインを指し示すように、前記プロセッサが、前記ウェブページ内の該ドキュメントドメインスクリプトコマンドを変更することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記プロセッサが、サポートされていないリンクをエラーメッセージと置き換えることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記プロセッサが、第 1 のクッキーに関連する 1 組の作成の詳細を保存することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 1 組の作成の詳細のソースは、http - ヘッダである、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記プロセッサが、ブラウザに第 2 のクッキーを前記中間ウェブサーバへと送信させることをさらに含み、該第 2 のクッキーは、前記第 1 のクッキーに関連する前記 1 組の作成の詳細を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記プロセッサが、フォーム「GET」提出をフォーム「POST」提出に変更することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

中間サーバにおいてウェブページを仲介するシステムであって、

コンピュータ読み取り可能媒体と、

該コンピュータ読み取り可能媒体に格納されたソフトウェア命令とを含み、該ソフトウェア命令は、

ターゲットウェブサーバからウェブページを取り出すことと、

該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内のダイナミックリンクを識別することと、

該ダイナミックリンクが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別されたダイナミックリンクを変更することとを行いうように動作可能である、システム。

【請求項 15】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にするように動作可能なソフトウェア命令は、前記ウェブページが即座に期限切れになるようさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項16】

前記ダイナミックリンクは相対リンクであり、前記ソフトウェア命令は、該相対リンクがベースタグを含む場合、該相対リンクが前記中間サーバを指し示すように該ベースタグを修正することと、

該相対リンクがベースタグを含まない場合、ベースタグを挿入することであって、該挿入されたベースタグにより、該相対リンクが該中間サーバを指し示すこととを行いうようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項17】

前記ソフトウェア命令は、ホスト名を用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲットウェブサーバを規定するようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項18】

前記ソフトウェア命令は、ポートを用いて前記ウェブページに関連する前記ターゲットウェブサーバを規定するようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項19】

前記ダイナミックリンクは絶対URLであり、前記ソフトウェア命令は、プロトコルによって該絶対URLを識別するようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項20】

前記ソフトウェア命令は、前記ウェブページ内のリソースのリソースソースタグを識別することによって該リソースのリソースタイプを識別することと、該ウェブページを修正して該リソースを指し示すリンクを変更することにより、該リソースタイプを有するとして該リソースをマークすることと、該リソースがマークされているリソースタイプに基づいて、該リソースを指し示すダイナミックリンクが変更されるべきではないことを決定することとを行いうようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項21】

前記ソフトウェア命令は、ドキュメントドメインスクリプトコマンドが前記中間サーバのドメインを指し示すように前記ウェブページ内の該ドキュメントドメインスクリプトコマンドを変更するようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項22】

前記ソフトウェア命令は、サポートされていないリンクをエラーメッセージと置き換えるようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項23】

前記ソフトウェア命令は、第1のクッキーに関連する1組の作成の詳細を保存するようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項24】

前記ソフトウェア命令は、http - ヘッダから前記1組の作成の詳細を保存するようにさらに動作可能である、請求項23に記載のシステム。

【請求項25】

前記ソフトウェア命令は、ブラウザに第2のクッキーを前記中間ウェブサーバへと送信するようにさらに動作可能であり、該第2のクッキーは、前記第1のクッキーに関連する前記1組の作成の詳細を含む、請求項23に記載のシステム。

【請求項26】

前記ソフトウェア命令は、フォーム「GET」提出をフォーム「POST」提出に変更するようにさらに動作可能である、請求項14に記載のシステム。

【請求項27】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによって実行され、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを取り出すことと、
該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、

関連するプロトコル名に従って該ウェブページ内の絶対URLを識別することと、
該絶対URLが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された絶対URLを変更することと
を含む、方法。

【請求項 28】

相対URLが前記中間サーバを指し示すように、前記プロセッサが前記ウェブページ内の該相対URLを変更することをさらに含む、請求項27に記載の方法。

【請求項 29】

前記プロセッサが、クッキーに関連する1組の作成の詳細を保存することをさらに含む、
請求項27に記載の方法。

【請求項 30】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、
該プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、
請求項27に記載の方法。

【請求項 31】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによ
って実行され、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを取り出すことと、
該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、
関連するプロトコル名によって該ウェブページ内の相対リンクを識別することと、
該相対リンクが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された相対リンクを変更することと
を含み、

該相対リンクがベースタグを含む場合、該相対リンクが該中間サーバを指し示すように、
該プロセッサが該ベースタグを修正することと、

該相対リンクがベースタグを含まない場合、該プロセッサがベースタグを挿入すること
であって、該挿入されたベースタグにより、該相対リンクが該中間サーバを指し示す、こと
と

をさらに含む、方法。

【請求項 32】

絶対URLが前記中間サーバを指し示すように、前記プロセッサが該絶対URLを変更することをさらに含む、
請求項31に記載の方法。

【請求項 33】

前記プロセッサが、クッキーに関連する1組の作成の詳細を保存することをさらに含む、
請求項31に記載の方法。

【請求項 34】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすることと、
該プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、
請求項31に記載の方法。

【請求項 35】

ウェブページを仲介する方法であって、該方法は、中間サーバにおいてプロセッサによ
って実行され、

ターゲットウェブサーバから該ウェブページを受け取ることと、
該ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にすること

と、

関連するプロトコル名によって該ウェブページ内の絶対URLと相対URLとを識別することと、

該絶対URLが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された絶対URLを変更することと、

該相対URLが該中間サーバを指し示すように該ウェブページ内の該識別された相対URLを変更することと

を含む方法。

【請求項36】

前記プロセッサが、クッキーと関連する1組の作成の詳細を保存することをさらに含む、請求項35に記載の方法。

【請求項37】

前記ウェブページを修正して該ウェブページがキャッシュされないことを確実にする工程は、前記プロセッサが、該ウェブページを即座に期限切れになるように設定することを含む、請求項35に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

本発明の目的に対して、「コンテンツ」は、(例えば、ユーザがリンクを選択する場合)ユーザコマンドに応じるウェブページによってユーザのブラウザに戻されるH T M Lおよび他のデータを指す。「静的」ウェブページは、経時的に変化しない、ユーザのブラウザに戻されるコンテンツを含む。「動的」ウェブページは、異なって、予めフォーマットされていないコンテンツを含み得るページを表す。そのページは、同じユーザのコマンドに応じて経時的に変化する。「経路」または「ウェブ経路」は、特定の順番においてなされる連続的なリクエストである。「教示セッション」は、経路が後に再生され得るようにユーザが該経路を規定することを指す。